



## 多彩な洋蘭展 丹精込め340点

岡山で9日まで

美しいランの魅力を紹介する「春の洋蘭展」が七日、岡山市桑野、岡山ふれあいセンターで始まった。写真。九日まで。

県洋蘭協会などの主催で、会員たちが丹精を込めて育てた中南米や東南アジアなど原産の約三百四十点が展示されている。花びら

が黒っぽいものや歯ブラシの形をした珍しい品種もあり、訪れた人たちは熱心に見入っていた。

特に人気を集めたのは、審査で県知事賞に選ばれたカトレア。鮮やかなピンク色で大ぶりな花が十個ほど咲いていて、見る人たちの心をとりこにしていた。

即売もあり、売上金の一部はAMD A（アジア医師連絡協議会）に寄付される。

井原市から来た主婦六六は「十五年ほど前から家で小さなランを育てているが、これほど見事な色は出ない。勉強になりました」と話していた。